



NPO法人ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

場所 フィリピン共和国・カオハガン島

期間 2024年11月3日～11月7日

参加メンバー

〈左から〉大澤一雄(D) 倉橋朋子(H) 宮前真帆(H) 木田悠太郎(V) 高橋ひとみ(H) 嶋村寿美江(H)
羽邑紗智子(H) ゆうこ(カオハガンハウス) よしえ(カオハガンハウス) 沢田宗久(D)



活動内容

11月3日(日)

14時過ぎに集合場所セブ・マクタン空港に8人集合。カオハガンのトッペルが迎えに来た。

大型タクシーで埠頭に移動、人数も少ないので、小さい2隻のボートでカオハガンへ。小さいボートのため、大回りせずにカオハガン島に上陸。16時頃到着し、部屋割りをしてからバラングイホールへ行き診療の準備をし、その後夕食・ミーティングで就寝する。



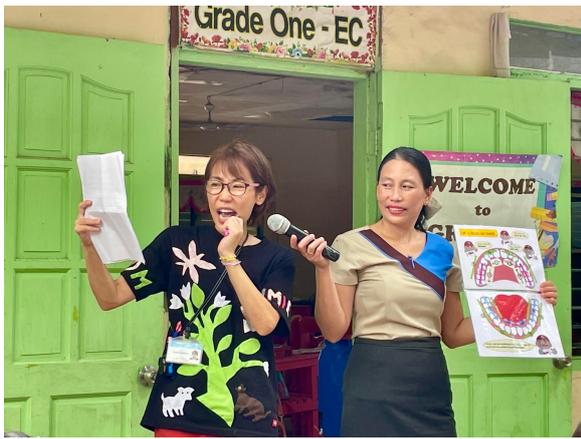
11月4日(月)

8時30分からD沢田とV木田が小学校へドネーション(タオル・歯ブラシ) 文化交流のため、5,6年生に画用紙・クレパスを渡し作品制作することに。9時から残りのメンバーでバランガイホールへ行き診療する。準備に時間がかかり10時から診療開始する。今回はメンバーが少ないので、バランガイホールのスタッフが滅菌のアシスタントをしてくれた。モリーナさんと ノーマンさんが丁寧に洗浄して、オートクレーブを管理してくれた(DH高橋の指導の下)。今回周辺の島への活動アナウンスはなしにした。



11月5日(火)

9時からDH嶋村 DH羽邑 DH宮前が小学校で保健指導へ。他のメンバーはバランガイホールで診療していく。保健指導から戻ってきてから、一般診療と併行して、バランガイホールの外で小学生の歯科検診をしていく。DH倉橋 DH羽邑 DH嶋村 DH宮前 V木田がチェックアップ・シーラント・フッ素塗布をしていく。検診中、本人から希望があれば抜歯のためバランガイホールに入ってもらった。今回からグレード8までカオハガン島で授業出来るらしく150人の生徒数のため グレード4,5,6は午後の診療に歯科検診をしていく。いつもは全生徒数の何割かは逃げていて全員を検診出来ることはなかったが、今回集計をしてみると150人全員の検診をすることができた(6日に前日休みのため検診にきた生徒含め) モリーナさんはセブでの用事で不在、ノーマンさんと ダニエルさんが滅菌作業してくれた。



11月6日(水)

本日最終日のため10時30を目途に撤収作業に入る予定だったが、朝から小学生たちが、クリーニングや抜歯希望の生徒が来たのに加え、カオハガン島民も多く来院し、それもほぼクリーニング希望の患者が多く、できるだけ多くの島民を診てほしいと依頼があり参加メンバーには申し訳なかったが受付終了してからもどうしてもという患者さんを追加して予定よりも長く診療することになった。
その後、撤収作業に入っていく。



昼食後、各自シュノーケル・マッサージ・アクセサリ作り(ピアス)などで時間を過ごし、夕方からポイントグ(砂浜)で運動会をする。今回は'ルー・お玉'ルー・お菓子とり競争・玉入れ・綱引きをする。口唇口蓋裂のジッピーも運動会に参加、元気そうな顔を見せてくれた。

今回も 恒例のたこ焼きパーティー マンゴーパーティーはもちろん開催する。





11月7日(木)

3時30頃の暗い中、2隻のボートでカオハガン島を出発 ショートコースで埠頭に到着。タクシーで空港に移動し各自帰路につく。

・言葉は少なかったが、今までの診療を見ていて自分の出来ることを探して知らない間に一人で最終集計を(他のメンバーに分からないことは聞きながら)してくれた V 木田くん



- ・今回も数が月前から時間と労力をかけてそれも英語翻訳だけでなく、ビサヤ語で子供たちの歯を守るために媒体を作ってくれた DH 嶋村さん
- ・豊富な知識でオートクレーブや洗浄・滅菌・滅菌のサポートをしてくれるバランガイホールスタッフへの指導や全体に目を配り必要なものなどないかと頻りに声をかけてくれた DH 高橋さん
- ・いつも言葉のサポートをしてくれてどこか包み込むような安心感があり、誰か代わりにやってほしいと思った時には必ず彼女から声をかけてくれて、場の雰囲気をよくしてくれる DH 羽邑さん
- ・初参加だけどカオハガン島への「ピーター」で今回、クリーニング患者が多く彼女にはスケーリングばかりしてもらっていたが、クリームもなく次々と治療をしていってくれた DH 宮前さん
- ・リーダーを快諾してくれ、いろいろな提案をして今回の活動や今後の活動が良くなるように助言してくれ、治療も来るもの拒まず D(入歯)修理から、充填・抜歯までなんでもこなした大澤先生
- ・高齢にもかかわらず、多くの抜歯を担当し最終日の夜も小学生の歌のプレゼント後のダンスで JDM メンバー1踊っていた沢田先生

今回参加人数が少なくどうなるか心配していたが、カオハガンスタッフよしえ、ゆうこ、トッペル、バランガイホールスタッフモリーナ、ノーマン、ダニエル、カオハガン島村長など多くのサポートと素敵な参加メンバーのおかげで無事に終えることができた。

リーダー総括

参加者の皆さん今年もカオハガンでのボランティア活動お疲れさまでした。今回はドクター2人、歯科衛生士4人、ボランティア1人の7名のJDMメンバーに加えてフィリピン在住の歯科衛生士1人のお手伝いで、合計8名での活動でした。近年ではこの少数での活動は珍しかったと思います。当初は少人数がゆえに活動の幅も制限されることが予想され、カオハガン島以外へのアナウンスを抑えての活動開始でした。ところがカオハガン島住民から、親戚や友人等へのネットワークにより活動が周知され、結局周辺の島々の患者さんも診るという結果になりました。

活動の内容は、ドクターも含めて役割分担もきちんとでき、メンバーの一人々々が自主的且つ、積極的に行動をしていただいたため、まるでこの人数で活動していたのが不思議なぐらいスムーズにミッションをこなすことができました。活動前後の毎回のミーティングでも積極的に意見が出て、わずかな問題点が全て成功の結果に導けるというリーダーを任された自分が何も指示もせずスムーズに今回の活動が終えられたと感じています。

実際の患者さんたちのお口の中はというと、最近何年かの報告にもあるようにカオハガン島の住民に関しては、年齢を問わず口腔内が良好な傾向にあり、全歯列にカリエスがなく、治療も不要でフッ素塗布のみで完了という患者様が増えており、「沢田イズム」が浸透してきた証だと思いました。周辺の島に関しては、10歳前後で、6番の抜歯をしなければならない子供たちや、多くの臼歯を抜歯しなければならない大人たちがまだまだみられました。

今後の課題としてはもちろん抜歯する歯を少なくすることももちろんですが、抜歯ゼロにはなかなかならないと思うので、特に臼歯の欠損に対する補綴が必用なのではないかと感じました。

大澤一雄

データ

治療結果

	4日	5日	6日	合計
抜歯	41本	58本	15本	114本
CR	14本	9本	5本	28本
シーラント	0本	23本	1本	24本
SC	23人	29人	24人	76人
TBI・フッ素	0人	118人	0人	118人
義歯修理	1床	3床	0床	4床
義歯増歯	3床	0床	0床	3床
人数	47人	209人	42人	298人

島別受診者	
カオハガン	62人
カオハガンスクール	166人
カブルアン	58人
サンタロッサ	7人
パンダノン	5人
合計	298人